

| | | | | | |
|---|--|------|---|--|--|
| 阿南工業高等専門学校 | | 開講年度 | 令和02年度 (2020年度) | 授業科目 | 日本語総合 |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 1112G01 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 一般教養 | | 対象学年 | 2 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 高専日本語アビリティ I・II (阿南高専) / 級別漢字学習帳7級~2級 (東京法令出版) | | | | |
| 担当教員 | 坪井 泰士 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1.情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 2.文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。 3.論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べるができる。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 最低限の到達レベルの目安 |
| 到達目標1 | 情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成、適切な表現スキルにより口頭発表できる。 | | 情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成により口頭発表できる。 | | 情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 |
| 到達目標2 | 文学的な文章を表現に即して読み味わい、自分の考えを加えて適切に説明できる。 | | 文学的な文章を表現に即して読み味わい、適切に説明できる。 | | 文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。 |
| 到達目標3 | 論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を論理立てて述べるができる。 | | 論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を述べるができる。 | | 論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べるができる。 |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 C-2 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 日本語の表現に関する基礎知識・技術を理解し、論理的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 授業は、文章表現および口頭表現に関する学習・練習を基本とする。また、小説・詩の鑑賞により社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、評論読解や漢字学習により理解や表現の力を培う。 【学習時間60時間】 | | | | |
| 注意点 | 毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（漫画、雑誌、テキストを除く）。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ガイダンス | シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。 | |
| | | 2週 | 表現法① | 文末表現、修辭法（比喩的修辭）を活用して、表現できる。 | |
| | | 3週 | 表現法② | 修辭法（比喩的修辭以外のもの）を活用して、表現できる。 | |
| | | 4週 | 表現法③ | 設疑法、反語法を活用して、表現できる。 | |
| | | 5週 | 小説の鑑賞① | 鑑賞技法を活用して、『枯野抄』を鑑賞できる。 | |
| | | 6週 | 小説の鑑賞② | 『枯野抄』についての鑑賞をチームで共有し、まとめられる。 | |
| | | 7週 | 小説の鑑賞③ | 『枯野抄』についてのチームの鑑賞を、役割分担をして発表し、質疑に回答できる。 | |
| | | 8週 | 前期中間試験 | 学習のまとめ | |
| | 2ndQ | 9週 | 文章表現① | 読書感想文のテンプレートについて、論文との違いを説明できる。 | |
| | | 10週 | 文章表現② | 既習の表現法を活用して、読書感想文を執筆できる。 | |
| | | 11週 | 文章表現③ | 読書感想文を、自身で校正できる。 | |
| | | 12週 | 文章表現④ | 助言を受けて表現法を改善し、読書感想文を執筆できる。 | |
| | | 13週 | 表現法④ | 構成法（3段構成）と接続の言葉を活用し、評論を読解できる。 | |
| | | 14週 | 表現法⑤ | 設疑法、反語法や文末表現等の表現法に留意し、意見文を執筆できる。 | |
| | | 15週 | 表現法⑥ | 助言を受けて表現法を改善し、意見文を執筆できる。 | |
| | | 16週 | 答案返却 | 学習のまとめ | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 評論読解① | 評論の構造を理解し、読解の方法を説明できる。 | |
| | | 2週 | 評論読解② | 評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。 | |
| | | 3週 | 評論読解③ | 評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。 | |
| | | 4週 | 評論読解④ | 評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示を行い、共有できる。 | |
| | | 5週 | スピーチ① | 文章表現との違いに留意し、スピーチ技法を説明し、構成シートを作成できる。 | |
| | | 6週 | スピーチ② | 練習スピーチによりスピーチskillを理解し、改善のポイントを説明できる。 | |

| | | | |
|------|-----|-----------|-----------------------------------|
| 4thQ | 7週 | スピーチ③ | スピーチskillを適切に活用し、効果的にスピーチできる。 |
| | 8週 | 中間試験 | 学習のまとめ |
| | 9週 | 詩の鑑賞① | 鑑賞技法(小説との共通点、違い)を活用して、『初恋』を鑑賞できる。 |
| | 10週 | 詩の鑑賞② | 近代文学史概観を理解し、詩を鑑賞できる。 |
| | 11週 | 詩の鑑賞③ | 既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞できる。 |
| | 12週 | 詩の鑑賞④ | 既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞し、暗唱できる。 |
| | 13週 | CMコピーの分析① | 既習の表現法を整理し、説明できる。 |
| | 14週 | CMコピーの分析② | 既習の表現法を活用し、CMコピーを分析できる。 |
| | 15週 | まとめ | 到達目標に照らし、学習内容を点検し、整理できる。 |
| | 16週 | 答案返却 | 学習のまとめ |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 | |
|--|---------|-----------|-----------|--|-----|---|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 国語 | 国語 | 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 | 3 | 前2,前3,前4,前8,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後8,後13,後14,後15,後16 |
| | | | | 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。 | 3 | 前2,前3,前4,前9,前13,前14,前15,前16,後2,後3,後4,後8,後13,後14,後15,後16 |
| | | | | 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。 | 3 | 前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前16,後8,後9,後10,後11,後12,後15,後16 |
| | | | | 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 | 2 | 前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後8,後13,後14,後16 |
| | | | | 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 | 2 | 前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後8,後13,後14,後16 |
| | | | | 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。 | 2 | 後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15,後16 |
| | | | | 収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。 | 2 | 後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後13,後14,後15,後16 |
| | | | | 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。 | 2 | 前6,前7,前14,前15,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後14,後15,後16 |
| | | | | 作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。 | 2 | 前7,後5,後6,後7,後8,後16 |
| | | | | 課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。 | 3 | 前6,前7,後4,後16 |
| 相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。 | 3 | 前6,後4,後16 | | | | |

| | | | | | | |
|---------|------|------|---|-----------|-----------|-----|
| | | | 新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。 | 2 | 前6,後4,後16 | |
| 評価割合 | | | | | | |
| | 定期試験 | 小テスト | ポートフォリオ | 発表・取り組み姿勢 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 80 | 0 | 8 | 8 | 4 | 100 |
| 基礎的能力 | 80 | 0 | 8 | 8 | 4 | 100 |
| 専門的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |